

「市民の創造力をつなぐ情報プラットフォームを考える」(仮称)



地域SNS「ハマっち！」をどうするの？！

Y150終了後の次代に引き継ぐべき価値を、多くの人と語り合おう

2009年、横浜開港150周年の節目の年も後半に入りました。開国博も終わりまで2カ月を切り、次代に引き継ぐべき価値の模索、振り返りが始まっています。

横浜の地域SNS「ハマっち！」は、さまざまな場所でイベントを繰り広げている横浜市民のつながり作りを目指し、2007年3月に開設されました。

当初10人に満たないメンバーで始まったこの情報コミュニケーション技術の実験は、現在登録会員数2800人を数えるまでになりました。

さらに2009年4月からは、Y150関連の多様な情報が検索できる「イベント・ナビ」も開設され、よりいっそう「市民の自己表現・地域貢献としてのイベント」を、多くの人たちに提供できる体制が整いました。

しかしながら、運営主体のY150市民参加プラットフォーム推進委員会(山崎洋子会長)が横浜市からの補助金を得て運営してきた「ハマっち！」は2008年度末で、横浜開港150周年協会の事業として生まれた「イベント・ナビ」は、08年09月末でその財源の手当てがなくなる予定です。

同じ地域に暮らしながら、これまでつながることのなかった市民に出会いのきっかけを提供し、コミュニケーションを深める場として活用されてきたこれらの仕組みをどうしていくのか？

維持するのか？ 廃止するのか？

来年度以降、「誰が」「どのように」「なんのために」、ハマっち！やイベント・ナビを継承していくのか？

見えない地域の「インフラ」ともいえる情報ネットワークの仕組みの意義を探りながら、多くの方たちとともにこの事業の今後のあり方を考えるため、8月1日にフォーラム「市民の創造力をつなぐ情報プラットフォームを考える(仮称)」をBankART Studio NYK(中区海岸通)で開催します。



●開催日時：2009年8月1日(土)

受付開始／開場12:30 フォーラム13:00～16:20 交流会16:20～17:00

●開催場所：BankART Studio NYK 2階

横浜市中区海岸通3-9 TEL: 045-663-2812

横浜みなとみらい線「馬車道駅」6出口[万国橋口] 徒歩4分

<http://www.bankart1929.com/>

●主催：ハマっち！運営委員会(Y150市民参加プラットフォーム推進委員会)

●入場料：無料(交流会飲食は実費)

●定員：80名予定

●お問合せ・お申込み：Y150市民参加プラットフォーム推進委員会

(事務局：財団法人横浜開港150周年協会)

TEL&FAX 045-489-4767

E-mail: hamatch@yokohama150.jp

● プログラム

1. フォーラムの開催趣旨について／山崎洋子氏 Y150市民参加プラットフォーム推進委員長
2. トーク1 Y150をどう継承するか／小川 巧記(おがわ・たくのり)氏
横浜開港150周年記念テーマイベント「開国博Y150」総合プロデューサー
3. トーク2 地域活性と情報プラットフォーム／庄司 昌彦(しょうじ・まさひこ)氏
国際大学 グローバル・コミュニケーション・センター(GLOCOM)講師／主任研究員
4. 基調講演 牧 慎太郎(まき・しんたろう)氏 兵庫県企画県民
5. 経過報告 「ハマっち！のこれまでとこれから」／ハマっち！運営委員会
6. パネルディスカッション 「市民の創造力をつなぐ情報プラットフォームを考える」

● 講演者のご紹介

◆ 牧 慎太郎(まき・しんたろう) 兵庫県企画県民部長

兵庫県出身。昭和61年東京大学法学部卒、同年自治省入省、奈良県、消防庁、北九州市、通商産業省、島根県、北海道勤務を経て総務省地方情報化推進室長、同情報政策企画官、経済財政諮問会議「日本21世紀ビジョン」WG委員を歴任。著書に「地域振興の戦略的展開」(1995共著)、「分権型税財政制度を創る」(2000共著)、「ICTで変わる自治体経営戦略」(2006共著)など。趣味は山登り 日本山岳会会員〔ホームページ〕http://www.d3.dion.ne.jp/~maki_sr/

◆ 小川 巧記(おがわ・たくのり) 横浜開港150周年記念テーマイベント「開国博Y150」総合プロデューサー

横浜市在住。ビッグバン・ハウス(株)代表。クリエイティブ・ディレクター/イベント・プロデューサー。2005年日本国際博覧会「愛・地球博」で、万博史上初の市民参加事業のプロデューサーを務める。「愛知県地域づくり洋上セミナー」「全国生涯学習フェスティバル」「国連国際防災会議」「三重県海の祭典」「ゆめ交流博覧会三井グループ館」等プロデュース。1999年国連国際高齢者年の市民イベント「早稲田エイジングメッセ」をプロデュース。以後、高齢社会や環境問題など市民参加型のソーシャルコミュニケーションの企画に多く携わる。著作:「万博を創る」「地球大交流」(共著)。JAA(日本広告主賞)「消費者のためになる広告」金賞受賞。広告電通賞受賞。

◆ 庄司 昌彦(しょうじ・まさひこ) 国際大学 グローバル・コミュニケーション・センター(GLOCOM)講師／主任研究員

地域 SNS研究会主宰

1976年、東京都生まれ。中央大学大学院総合政策研究科修士課程修了。おもな関心は情報社会学、政策過程論、電子政府・自治体、地域情報化、ネットコミュニティなど。2003年よりオンライン政策誌『政策空間』の副編集長、2006年より実践女子大学非常勤講師、NPO法人政策過程研究機構の理事も務めている。共著に『地域SNS最前線 Web2.0時代のまちおこし実践ガイド』(2007年、アスキー)、『クリエイティブ・シティ 新コンテンツ産業の創出』(2007年、NTT出版)、『情報アクセシビリティ やさしい情報社会へ向けて』(2005年、NTT出版)、『コミュニティ eデモクラシーシリーズ第3巻』(2005年、日本経済評論社)など。

多くのみなさんのご参加をお待ちしております